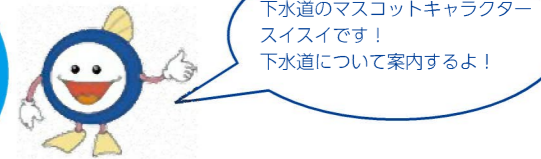


熱海市の下水道



下水道のマスコットキャラクター
スイスイです！
下水道について案内するよ！

キレイな水を守るには下水道接続が一番

まちを清潔にすることや、海や川などの身近な環境を守る下水道。

下水道は、日常生活で使用しているトイレやお風呂、洗濯、台所などから出る生活排水を処理し、キレイにしてから海に戻し、水質保全の役割を担っています。

下水道は、見えないところで私たちの安全・安心で快適な暮らしを支えています。



熱海の水環境は、甦る水100選受賞

清らかな水環境の創出を目指し、昭和26年に下水道事業の認可を得て事業に着手し、その後、泉・伊豆山・南熱海地区の順で公共下水道を利用できるようになりました。

また、熱海市はサンビーチや東海岸町を中心とした下水道整備が評価され、平成12年に建設省（現国土交通省）より「甦る水100選」として表彰されています。サンビーチや長浜海水浴場などきれいな水環境が保たれているのも、下水道が整備されているためです。

公共下水道と浄化槽の違い

「処理後の汚れ量」をみると、**公共下水道が一番少なく**、水がきれいになることがわかるね！**単独浄化槽**は、雑排水の処理ができないから、処理後の汚れ量は、**公共下水道の16倍**にもなるんだ！

処理方法ごとの処理水と処理後の汚れ量

処理方法	維持管理	処理水	処理後の汚れ量
公共下水道	熱海市	トイレ排水と雑排水	2g
合併浄化槽	家屋所有者	トイレ排水と雑排水	4g
単独浄化槽	家屋所有者	トイレ排水	32g

・雑排水 風呂、手洗い、洗濯、台所で使用した水
・処理後の汚れ量 処理方法によって処理された後の水の汚れ量
1人1日あたりの排水量約200リットルに含まれる生活排水の汚れ40グラムで計算

公共下水道の利用状況(令和元年度末現在)

★公共下水道普及率 人口のうち、公共下水道を利用できる人の割合

熱海市 68% 全国 79%

★水洗化率 公共下水道を利用できる人のうち、実際に下水道に接続して汚水処理している人の割合で100%となっていることが望ましい。

熱海市 88% 全国 95%

熱海市で公共下水道を利用できる人のうち、あと12%の人が公共下水道に接続すると100%になるね！接続するにはどうすればいいんだろう？次のページを見てみよう！



公共下水道整備区域図

公共下水道に接続しよう！

【公共下水道接続までの手続きの流れ】

①下水道課へ問い合わせる。
下水道接続にどのような費用がかかるのか、また、利用できる助成制度などについて、下水道課職員が詳しく説明します。

②熱海市指定工事店（管工業者）から下水道接続工事の見積もりをもらい工事を発注する。
工事費は、各家庭・工事店によって異なります。
工事費については、助成制度や貸付制度があります。

お気軽に聞いてくださいね！



問い合わせ先

下水道課 施設室
☎ 0557(86)6526
6528



ID1000888

数字からみる下水道の豆知識

【128km】下水道管の長さ

熱海市の地面には約128kmの下水道管が埋まっています。普段は見えない下水道管ですが、状態が悪くなると詰まったり、破損して道路が陥没したりするので、順番に管の更新を行っています。

※120km = 熱海から東京までの距離



【18,000㎡】1日あたりの下水処理量

熱海市の下水処理場（浄水管理センター）では、1日に約18,000㎡のトイレ排水と雑排水を処理しています。水の汚れは、ゴミなどを取り除いた後、微生物が汚れを食べ、さらに沈殿させてきれいにしてあるため、きれいな水に再生するまでに24時間以上の時間を必要とします。きれいになった水は、最後に塩素消毒して海に放流しています。

※18,000㎡ = 小学校の標準的な25mプール 約30杯分

【16%】下水道管の老朽化率

法定耐用年数を超えた下水道管の長さの割合を表した指標。下水道管の耐用年数は約50年間とされており、順番に管の更新を行っていますが、熱海市の下水道管は昭和40年代から急激に整備された管の割合が高く、年々上昇しています。

★熱海市 平成30年度13% 令和元年度16%(全国平均6%)

黄色いエリアが公共下水道に接続することができるエリアだよ！

